

生活単元学習学習指導案

指導者 廿日市特別支援学校

教諭 山本 美幸 (T1)

教諭 佐藤 聡太 (T2)

- 1 日時, 場所 令和2年12月12日(土) 10:05~10:50
小学部第3学年2組 教室, 3・4号館2階渡り廊下
- 2 学部, 学年, 学級 小学部第3学年2組(男子4名, 女子1名)
- 3 単元名 「元気いっぱい冬」

4 単元設定の理由

(1) 児童観

本学級は、男児4名、女児1名の計5名の児童が在籍している知的障害単一障害学級である。5名の児童のうち、4名は広汎性発達障害を併せ有している。

本学級の5名の児童は、身辺処理や言葉の理解や表出、他者との関わり、興味・関心等の様々な面において、実態に大きな差がある。しかし、どの児童も「自分の思いを教師や友だちに伝えたい。」という気持ちが強く、指差しや簡単な身振り、発声や単語、2～4語文等の各々の方法で、相手に伝わるまで根気強く伝えようとする。また、人との関わりを求める気持ちも強く、くすぐり遊びを求めてきたり、「一緒に遊ぼう。」と友だちを誘い追いかけてをしたりしている。さらに、これまでの様々な活動を通して、児童同士で「すごい。」と認めたり、「頑張れ。」と励ましたり、また「○○くん大好き。」と相手を受け入れたり、お互いを学級の仲間として意識する姿が見られるようになってきた。一方、自分の思いが相手にうまく伝わらなかった際には、泣きながら立ち尽くしたり、周りにいる友だちや教師を叩いたりつねったりする等誤学習している児童もいる。また、友だちや教師と関わりたいという強い気持ちから、関わりが強引で一方的になる姿も多々見られる。

学習活動では、何事にも興味を示して意欲的に取り組もうとする児童もいれば、興味・関心の狭さや自信のなさから、活動によっては取り組むまでに時間がかかったり、取り組めなかったりする児童もいる。また、初めて取り組む活動に対して拒否を示し、内容を理解して楽しさを見出すまでに繰り返しの活動が必要な児童もいれば、次々と目新しい活動を求める児童もいる。このような様々な実態の中で、絵本の読み聞かせを聞いたり、音楽に合わせて体を動かしたりすることは、どの児童も共通して興味を示し、意欲的に取り組むことができる活動である。

これまでの生活単元学習では、「元気いっぱい夏」の単元において、花火を題材とした夏祭りを行った。花火の映像や写真を見たり、花火にまつわる絵本の読み聞かせを聞いたりすることにより、児童は花火へのイメージを膨らませ、各々の好きな色や形の素材を選択し花火を作成することができた。作成した花火が徐々に増えていくのを見て、笑顔で拍手をしたり「わあ～、綺麗。」と言ったりする姿が見られた。作成した花火を使って行った的当て遊びでは、的当て屋とお客の2役を選択しながら学級の友だちと一緒に遊び、最初は遊びたいばかりで的当て屋を選択しなかった児童も、遊びを繰り返し、友だちが的当て屋に取り組む様子を見ることにより、自分から「やる。」と的当て屋に立候補する姿が見られるようになった。

「元気いっぱいおでかけ」の単元においては、近隣の公園に行き、「秋見つけ」を行った。公園に行く前に、秋の公園にまつわる絵本の読み聞かせを聞いたり栗やどんぐりを見たりすることにより、実際に公園に行った際には、落ち葉を踏んで歩いたり栗やどんぐりを拾い集

めたりする等、秋ならではの公園を楽しむことができた。さらに、授業後、グラウンドに落ちているどんぐりを見て指差したり、給食の食材として使われている栗を見て、「秋だね。」と言ったりする姿が見られた。このように、児童はこれまでの学習活動を通して、季節やそれにまつわる様々な物への興味・関心が高まりつつある。また、自分たちが行ったことに対して達成感を感じたり、取り組んだことを日々の様々な場面で思い返したりする姿が見られるようになってきた。

(2) 単元観

本単元「元気いっぱい冬」では、冬の季節に関わる単元として「クリスマス」や「イルミネーション（電飾）」を題材として取り上げ、電球・電灯を使った飾り作りや教室や校内の飾り付け、さらに、それらを披露するための場としてお楽しみ会（ドリミネーション）を計画して行う。

これらの活動を通して、以下のはつかいち「学びの変革」の育成したい資質・能力を高め、前述した児童の課題に迫ることができる。

「クリスマス」は、当該学級の児童にとって、サンタクロースやプレゼント等、これまでの経験からイメージを膨らませることができる冬の一大イベントである。クリスマスツリーやリース等の様々な色の電球・電灯が使われた飾りも、冬になると家庭や市街で目にしている。また、「イルミネーション（電飾）」が放つ様々な色の光は、当該学級の児童にとって、視覚的に楽しむことのできる感覚である。さらに、光は、単色ではもちろんのこと、複数色を組み合わせることで表現を変えていくため、創意工夫次第で幾通りもの方法で楽しむことができる。

これらのことから、「クリスマス」や「イルミネーション（電飾）」は、実態差の大きい本学級の児童全員が興味・関心を示し、創意工夫して自ら活動を展開する力（か「活用」、い「意欲」）を育成することができる題材であると考ええる。

また、電球・電灯を使った飾り作りを行うことは、複数色ある光を選択し組み合わせたり、縦・横・斜め等様々な構図で並べたりと創意工夫しながら制作に取り組むことができ、児童なりのイメージを表現する力（ち「知識」、か「活用」、い「意欲」）を育成することができる。さらに、完成後、スイッチを押し電球や電灯を点灯することにより、より達成感や満足感を得ることや「もっとやりたい。」や「またやりたい。」等の次の活動への期待感を高めることができる。と考える。

教室や校内の飾り付けをペアやグループで飾り付けをしたり、お楽しみ会（ドリミネーション）を計画し実施したりすることは、友だちや教師と対話し共同する力（は「働く力」、つ「つなぐ」）及び活動に対する達成感や満足感とともに自信を高めること（い「意欲」）をねらうことができる。

(3) 指導観

はつかいち「学びの変革」の育成したい資質・能力を高めるために、次のような学習展開を行う。

第一次では、絵本の読み聞かせを行ったり、電球や電灯が飾られた暗室でイルミネーションを体験する場を設定したりして、題材である「クリスマス」や「イルミネーション（電飾）」のイメージを膨らませるよう指導する。

本時を含む第二次では、「電気屋になって学校を明るくする。」という設定で、電球や電灯を使った飾り作りや教室や校内の飾り付けを展開していく。飾り付けでは、最初に教室への飾り付けを設定した後、「次は校内のどこに飾り付けをしたいか。」と写真カードの選択肢を提示しながら問い、児童が飾り付けをする場所を決定することができるようにする。配線係や点灯係等、電気屋として各々の児童の得意な役割を分担したり、あえて一人ではできない場所への飾り付けを行い友だちに援助を依頼する場を設定したりすることで、一緒に飾り付

けを完成させ、「友だちがいたからできた。」と友だちを意識することへとつなげていく。その際、援助の依頼の仕方を見本として提示し、やりとりを行った結果、友だちや教師に応じてもらえるという機会を設定する。

第三次では、第二次で行った飾り作りや飾り付けを、より多くの人に披露するためのお楽しみ会「3年2組ドリミネーション」を計画して行う。当日への期待感を高められるようにするため、計画では、ドリミネーションに招待する人を決定し、招待状を作って渡す活動を設定したり、完成させたイルミネーションに合わせて演奏するハンドベルの練習に繰り返し取り組む機会を設定したりする。また、より達成感や満足感を得ることができるよう、招待した人からの感想のビデオレターを準備し、それを見ながらドリミネーションを振り返る場を設定する。

また、単元全体を通して、活動に見通しをもったりつながりを意識したりして取り組むことができるように、単元の流れを写真やイラスト等で提示したカウントダウンカレンダーで確認したり、これまでの活動の過程を映像や写真で振り返る場を毎時間設定したりする。さらに、児童の表情や指差し、発言等をしっかりと受け止め、「綺麗だね。」や「もっと飾り付けをしたいね。」等代弁したり、児童が作った物を「これは〇〇かな。」と価値付けをしたりしていくことにより、活動への意欲や達成感、そして自信を高めることができるようにする。

学習評価に当たっては、授業前に担任間で目標や評価規準を共通認識したうえで、児童の発言や行動の観察を行う。授業の様子を映像や写真で記録に残しておき、授業後、目標と照らし合わせながら評価を行い、それを基に次時の目標を設定する。また、授業の中で、児童が目標を達成していたり、目標の達成に向けて行動していたりする姿が見られた際は、その都度、称賛の言葉かけをする。さらに、映像や写真を提示しながら、授業の中での児童の行動や発言を引用して振り返りを行う。

5 単元の目標

- (1) 冬の自然や生活の特徴や変化，集団の中での簡単な役割，気付きや表したいことを基に表現すること等について知り，教師の援助を求めながら，それらに関わる学習活動を行うことができる。
- (2) 目標を意識して活動を工夫したり，自分の役割等が分かり，見通しをもって活動したり，冬の自然や生活の特徴や変化について気付いたこと等を表現したりすることができる。
- (3) 様々な対象に自ら働きかけ，進んで活動したり，友だちとの関わりを楽しみながら活動しようとしたりする。

6 単元の評価規準

単元の 評価規準		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等	
		・「冬といえば？」の問いに「クリスマス」等の冬を表す単語を言ったり、写真を指差したりしている。 ・プラグとコンセントや電気スイッチを安全な方法で操作している。 ・電気屋としての5つの役割（配線担当、点灯担当等）の中から自分の役割を選択し、イルミネーションの飾り付けをしている。	・冬やクリスマスをイメージし、複数色ある紙粘土を組み合わせて土台を作ったり、その土台に電飾を縦・横・斜め等の様々な構図で埋め込んだりしてイルミネーションの飾りを作っている。 ・「こんな飾りを作りたい。」「作った飾りを学校のここに飾りたい。」と自分の考えを言ったり、提示された選択肢の中から指差しをして選択したりしている。 ・「3年2組ドリミネーション」のイルミネーションや音楽に合わせてハンドベルを鳴らしたり、体を揺らしたりしている。 ・「一緒にしよう！」「手伝うよ！」と言ったり、その気持ちを身振りや手振り等で伝えたりして、友だちと一緒にイルミネーションの飾り付けをしようとしている。	・イルミネーションの飾り作りに使いたい素材やその色を言ったり指差したり、手を伸ばしたりしようとしている。 ・作ったイルミネーションの飾りを見て感じたことを言葉や笑顔で友だちや教師に伝えようとしている。 ・飾り付けをした場所を見て、「他の場所も飾り付けたい！」と言ったり、その気持ちを身振りや手振り等で伝えようとしたりしている。	
はつかいち 「学びの変革」		ち【知識】 知識・情報 技能・行動	は【働く力】 思考力・判断 力・表現力	か【活用】 知識・技能の 活用	い【意欲】 興味・関心 主体性
育成 したい 資質・ 能力 段階表	第5段階	□必要な情報を収集する力	□臨機応変に対応する力	□できるようになったことを応用・発展させる力	□自信をもって自ら行動（「あんな風になりたい」「一人できる」）
	第4段階	□必要な情報を取捨選択する力	□正確な課題遂行能力	□自分のもてる力で課題に対処する力	■くりかえしやってみる（「またやろう」）
	第3段階	□基礎的・基本的な学力（書く、聞きたる、読み取る、見る、数える）	□集中力・忍耐力	□より良くするため工夫する力	■積極性（「よし！やるぞ」）
	第2段階	□学習活動への興味・関心（探求する）	■支援を要求する力	□体験したことを思い出し挑戦する力	■自発性（「やってみようかな」）
	第1段階	■基本的な生活習慣（集団のルール、マナー、学習姿勢）	□自分が得意なことを知る	■体験したことを振り返り繰り返す力	■興味・関心（「楽しそうだな」）
					□社会に貢献する力（相手を思いやり、為になることをする）
					□仲間と協働する力（同じ目的に向かって働く）
					□仲間と協働する力（心と力を合わせて活動する）
					■仲間と共同する力（力を合わせて活動する）
					■仲間と場を共有する力

7 指導計画（全24時間）

	計 画		
	指導計画	時間	指導内容（学習内容）
第1次	・でんきやになろう！	3	・絵本「ねこのでんきや スイッチオン」の読み聞かせ ・暗室を使ったイルミネーションの体験
第2次	・学校を明るく、スイッチオン！	13 本時 11/13	・電飾を使った飾り作り ・教室の飾り付け ・校内の飾り付け
第3次	・「3年2組ドリミネーション」をしよう！	8	・3年2組ドリミネーション（お楽しみ会）の計画・準備・練習 ・3年2組ドリミネーション（お楽しみ会）の実施 ・単元の振り返り及び思い出アルバムの作成
	合 計	24	

8 本時の目標

(1) 全体の目標

ア 「手伝って。」や「ここを持っていて。」等、友だちや教師に援助を求めながら電気屋としての自分の役割を行い、友だちと一緒にイルミネーションの飾り付けを行うことができる。

イ 飾り付けをしたイルミネーションを見て、笑顔で指差したり、自分の気持ちを表現したりしようとする。

(2) 個々の目標

児童	これまでの様子	目標
A	・2～4語文で、出来事やその時の気持ちを伝える。発音が不明瞭であったり、どもって言葉が出てくるまでに時間がかかることもあったりするが、相手に伝わるまで根気強く伝えようとする。困難な際には、「手伝ってください。」と教師に援助を求めることができる。 ・教師からの言葉による指示や説明は概ね理解している。 ・友だちが好きで、「〇〇くん、大好き。」と言って抱きついたり、困っている友だちがいると「頑張れ。」と言って応援したりする。 ・何事にも興味を示し、「やる。」と言って意欲的に取り組む。授業後に「〇〇した。」と言って振り返ったり、自分が作った作品を「綺麗。」と言って何度も見返したりする。 ・コンセントや延長コード等の電子機器が好きである。 ・手先が不器用で道具を操作することが苦手である。	・「手伝って。」等の言葉で友だちに援助を求める等して、電気屋としての自分の役割を行うことができる。また、友だちからの援助の依頼を受け入れ、手伝うことができる。 ・飾り付けをしたイルミネーションを見て感じたことを言葉で表現することができる。
B	・様々な言葉を知っており、会話のやりとりを楽しむことができる。必要に応じて教師に援助を求めることができる。 ・教師からの言葉による指示や説明は概ね理解している。分からない言葉があった際は「それってどういう意味？」と自分から質問する。ひらがなとカタカナは概ね正確に読むことができる。 ・困っている友だちがいると「頑張れ。」と応援したりする反面、教師の指示通りに活動に取り組むことができない友だちに対して、きつい口調で注意をすることがある。A児とは遊びの中のいざこざから「あっちいけ。」や「きらい。」と言うこともある。 ・教師の指示通りに取り組もうとする反面、興味・関心がもてなかったり自信がなかったりする活動には、取り組むまでに時間がかかったりできなかったりする。「僕はへたくそ。」と言い、自分に自信がもてない姿も多々見られる。活動に意欲的に取り組んでいる際は、「こうしたらいいと思う。」とアイデアを出すことができる。 ・手先が器用で、様々な道具を使ったり細かな作業をしたりすることが得意である。	・「手伝って。」等の言葉で友だちに援助を求める等して、電気屋としての自分の役割を行うことができる。また、友だちからの援助の依頼を受け入れ、手伝うことができる。 ・飾り付けをしたイルミネーションを見て感じたことを言葉で表現することができる。また、「ここはこうしたほうがもっとよくなると思う。」と新しいアイデアを出すことができる。
C	・単語や指差し、クレーン動作、写真カードを相手に渡すことで要求を伝える。困難な際に自分から援助を求めることができず、大きな声を出したり周囲の人を叩いたりつねったりすることがある。 ・日常生活の中で繰り返し聞く言葉は概ね理解している。聞き慣れない言葉や初めて取り組む活動についての指示や説明は、言葉と併せて見本や写真カードを見せることで、より理解することができる。 ・自分から教師にスキンシップをとろうとする。A児に抱きつかれると笑顔になることもある。 ・興味・関心がもてない活動には取り組むまでに時間がかかったりできなかったりする。	・「手伝って。」という言葉や手伝ってカードへの指差しで教師に援助を求める等して、電気屋としての自分の役割を行うことができる。 ・飾り付けをしたイルミネーションを見て、光が点いたり消えたりする様子を味わおうと、自分から何度も点灯スイッチを押したりすること

	・手先が器用で、様々な道具を使ったり細かな作業をしたりすることが得意である。	ができる。
D	・明確な発語はないが、発声や指差し、クレーン動作や簡単な身振りで要求を伝える。相手に伝わるまで根気強く伝えようとする。困難な際には、手伝ってほしい旨を両手を合わせるサインで教師に伝えることができる。 ・日常生活の中で繰り返し聞く言葉は概ね理解している。聞き慣れない言葉や初めて取り組む活動についての指示や説明は、言葉と併せて見本や写真カードを見せることで、より理解することができる。 ・友だちが好きで、気持ちが向かない活動も、友だちに誘われると取り組むことができる。友だちと関わりたい気持ちが強く、引っ張ったり押したり等、関わり方が強引になることがある。 ・何事にも興味を示し、やりたい気持ちを挙手することで伝え意欲的に取り組む。自分が作った作品を見て笑顔で拍手をしたり、何度も指差したりする。 ・手先が不器用で道具を操作することが苦手である。	・両手を合わせるサインで友だちや教師に援助を求める等して、電気屋としての自分の役割を行うことができる。 ・飾り付けをしたイルミネーションを見て、笑顔で指差したり拍手をしたりすることができる。
E	・単語や指差しで要求を伝える。やりたいことや欲しい物があっても自分から伝えることができず、教師の顔を見ながら立ち尽くしていることがある。困難な際も自分から援助を求めることができず、首を振りながら泣いていることがある。 ・日常生活の中で繰り返し聞く言葉は概ね理解している。聞き慣れない言葉や初めて取り組む活動についての指示や説明は、言葉と併せて見本や写真カードを見せることで、より理解することができる。 ・自分から教師の元に行きくすぐり遊びや追いかけっこを求める。A児に抱きつかれると笑顔になったり、B児がミニカーで遊んでいる様子を傍でじっと見ていたりすることがある。 ・初めて取り組む活動は泣いて拒否することがあるが、繰り返し何度も行うことで活動内容を理解し、黙々と取り組むことができる。 ・手先が不器用で道具を操作することが苦手である。	・「手伝って。」という言葉や手伝ってカードへの指差しで教師に援助を求める等して、電気屋としての自分の役割を行うことができる。 ・飾り付けをしたイルミネーションを見て笑顔で指差したり、光が点いたり消えたりする様子を味わおうと、自分から何度も点灯スイッチを押したりすることができる。

9 準備物

絵本「ねこのでんきや スイッチオン」、カウントダウンカレンダー、移動式ホワイトボード、前時に児童が作成した電球・電灯を使った飾り、電気屋役割カード、児童顔写真カード、電気屋のヘルメットと法被、手伝ってカード、踏み台、延長コード、点灯スイッチ、児童机、CD、CDデッキ

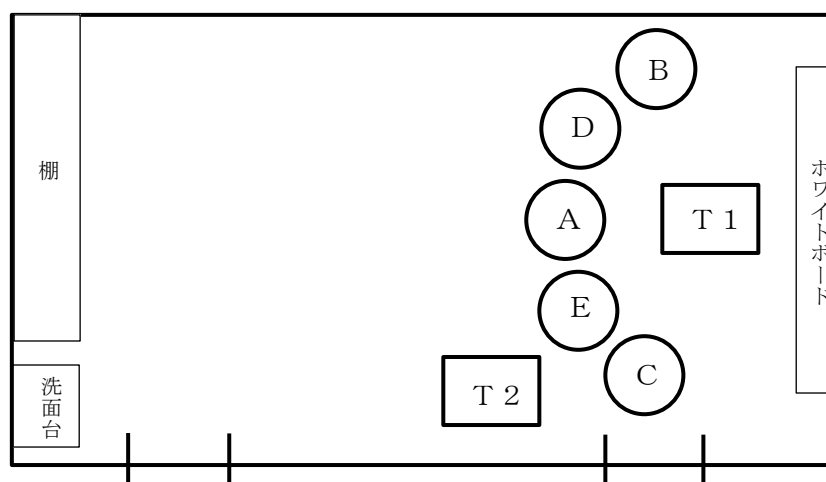
10 学習過程（※別紙）

11 評価の観点

- （１）育成したい資質・能力を明確にし、単元の評価規準を設定するとともに、個々の児童の学習状況の評価（学習評価）を適切に行うことができたか。
- （２）選択したはつかいち「学びの変革」の育成したい資質・能力を高めるための目標設定や指導・支援は適切であったか。

12 教室内配置図

活動1～4及び7，8



活動5，6は随時移動しながら行う。

10 学習過程

学習活動	指導上の留意点（課題□□□□，○指導・支援，☆評価）						
	A	B	C	D	E	全体	学びの変革
1 始まりの挨拶をする。 (1分)							
2 これまでの電気屋としての活動を振り返る。 (5分)	○大型テレビで映像や写真を提示しながら、「これは何をしているところ？」等、質問をする。 (T 1)	○大型テレビで映像や写真を提示しながら、「これは何をしているところ？」等、質問をする。 (T 1)	○大型テレビで映像や写真を提示しながら、「○○を作ったね。」等、これまでにやってきたことを言葉で伝える。 (T 1)	○大型テレビで映像や写真を提示しながら、「○○を作ったね。」等、これまでにやってきたことを言葉で伝える。 (T 1)	○大型テレビで映像や写真を提示しながら、「○○を作ったね。」等、これまでにやってきたことを言葉で伝える。 (T 1)	○これまでに読み聞かせを行ってきた絵本「ねこのでんきや スイッチオン」の中に出てくる登場人物のパペットや卓上の電飾飾り、カウントダウンカレンダーを提示したり、大型テレビでこれまでの活動の様子の映像や写真を提示したりする。また、前時に作成した飾りを提示する。	
3 本時の学習活動を知る。 (3分)		○提示物の文字を読むよう言葉かけをする。 (T 1)	○Cの視線が提示物に向いているか確認しながら、提示する位置を調整する。 (T 1)		○Eの視線が提示物に向いているか確認しながら、提示する位置を調整する。 (T 1)	○文字と写真を併用した学習の流れカードを提示する。また、学習の中で使用する電気屋の法被やヘルメット、前時に作成した飾りを提示する。	
4 電気屋として飾り付けを行う際のグループ(班)を確認する。 (5分)	○CとEが使用する手伝ってカードの使い方の見本を見せ、CとEからカードを使って援助の依頼があった場合は応じるように言葉かけをする。 (T 1, T 2)	○CとEが使用する手伝ってカードの使い方の見本を見せ、CとEからカードを使って援助の依頼があった場合は応じるように言葉かけをする。 (T 1, T 2)	○手伝ってカードの使い方の見本を見せる。 (T 1, T 2)		○手伝ってカードの使い方の見本を見せる。 (T 1, T 2)	○前時に作成した飾りに応じて、2人と3人の2グループを設定し、グループのメンバーやグループとして飾り付けを担当する飾りを文字と写真を併用した写真カードで提示する。一人で飾り付けをすることが難しい際	

5 3・4号館2階渡り廊下に移動し、前時に作成した飾りを飾り付ける。 (20分)	「手伝って。」等の言葉で友だちに援助を求める等して、電気屋としての自分の役割を行うことができる。また、友だちからの援助の依頼を受け入れ、手伝うことができる。 ○一人でできず困っている際は、「手伝って。」と言って友だちに援助を求めるよう言葉かけをする。友だちから援助を依頼された際は「いいよ。」と言って応じるよう言葉かけをする。 (T2) ☆「手伝って。」等の言葉で友だちに援助を求める等して、電気屋としての自分の役割を行うことができる。また、友だちからの援助の依頼を受け入れ、手伝うことができたか。	「手伝って。」等の言葉で友だちに援助を求める等して、電気屋としての自分の役割を行うことができる。また、友だちからの援助の依頼を受け入れ、手伝うことができる。 ○一人でできず困っている際は、「手伝って。」と言って友だちに援助を求めるよう言葉かけをする。友だちから援助を依頼された際は「いいよ。」と言って応じるよう言葉かけをする。また、自分の役割が早く完了した際は、まだの友だちを手伝うよう言葉かけをする。 (T1) ☆「手伝って。」等の言葉で友だちに援助を求める等して、電気屋としての自分の役割を行うことができたか。	「手伝って。」という言葉や手伝ってカードへの指差しで教師に援助を求める等して、電気屋としての自分の役割を行うことができる。 ○一人でできず困っている際には、手伝ってカードを指差し教師に援助を求めるよう見本を見せる。手伝ってカードを指差した際は、「手伝って。」という言葉に言うよう促す。 (T2) ☆「手伝って。」という言葉や手伝ってカードへの指差しで教師に援助を求める等して、電気屋としての自分の役割を行うことができたか。	両手を合わせるサインで友だちや教師に援助を求める等して、電気屋としての自分の役割を行うことができる。 ○一人でできず困っている際には、両手を合わせるサインで友だちや教師に援助を求めるよう言葉かけをする。 (T1) ☆両手を合わせるサインで友だちや教師に援助を求める等して、電気屋としての自分の役割を行うことができたか。	「手伝って。」という言葉や手伝ってカードへの指差しで教師に援助を求める等して、電気屋としての自分の役割を行うことができる。 ○一人でできず困っている際には、手伝ってカードを指差し教師に援助を求めるよう見本を見せる。手伝ってカードを指差した際は、「手伝って。」という言葉に言うよう促す。 (T1) ☆「手伝って。」という言葉や手伝ってカードへの指差しで教師に援助を求める等して、電気屋としての自分の役割を行うことができたか。	は、グループの友だちや教師に援助を求めるよう言葉かけをするとともに、その見本を見せる。 ○電気屋の法被とヘルメットを提示し、身に付けるよう言葉かけをする。 ○身に付けることを嫌がる児童には無理強いはない。 ○どの役割も一人で行うことができる活動と友だちや教師と一緒にしなければならない活動の2種類を組み合わせた内容を設定する。一人でできず困っている際には、友だちや教師に援助を求めるよう言葉かけをしたり、見本を見せたりする。また、一緒に飾り付けを行う中で、児童に援助を求める。 ○友だちや教師に援助を求めたり友だちからの依頼を受け入れ手伝っていたりする際は、その姿を言葉にして称賛する。 ○2つの役割の活動が時間差で完了する内容	は か つ
---	---	---	---	---	---	---	----------------------

6 飾りを点灯し、鑑賞する（教室に戻る）。 (5分)	飾り付けをしたイルミネーションを見て感じたことを言葉で表現することができる。 ○「どこが綺麗？」と質問をしたりする。「一番綺麗なところ（好きなところ）を写真に撮ってみて。」とカメラを渡し写真を撮るよう言葉かけをしたり、見本を見せたりする。写真を見ながら撮影した理由を質問する。 (T2) ☆飾り付けをしたイルミネーションを見て感じたことを言葉で表現することができたか。	飾り付けをしたイルミネーションを見て感じたことを言葉で表現することができる。また、「ここはこうしたほうがもっとよくなると思う。」と新しいアイデアを出すことができる。 ○「どこが綺麗？」と質問をしたりする。「一番綺麗なところ（好きなところ）を写真に撮ってみて。」とカメラを渡し写真を撮るよう言葉かけをしたり、見本を見せたりする。写真を見ながら撮影した理由を質問する。また、「先生はここはこうしたほうがもっとよくなると思うけど、どう思う？」と新しい提案をしながら質問をする。 (T1) ☆飾り付けをしたイルミネーションを見て感じたことを言葉で表現することができたか。また、「ここはこうしたほうがもっとよくなると思う。」と新しいアイデアを出すことができたか。	飾り付けをしたイルミネーションを見て、笑顔で指差しをしたり、光が点いたり消えたりする様子を味わおうと、自分から何度も点灯スイッチを押したりすることができる。 ○本人からスイッチを操作しようとしている際はそれを認め、「光がついたら綺麗だね。」と言葉かけをする。 (T2) ☆飾り付けをしたイルミネーションを見て、笑顔で指差しをしたり、光が点いたり消えたりする様子を味わおうと、自分から何度も点灯スイッチを押したりすることができたか。	飾り付けをしたイルミネーションを見て、笑顔で指差ししたり拍手をしたりすることができる。 ○本人が指差しをした飾りに対して「Dさんの飾りだね。綺麗だね。」と言葉かけをしたり拍手をしたりする。 (T1) ☆飾り付けをしたイルミネーションを見て、笑顔で指差ししたり拍手をしたりすることができたか。	飾り付けをしたイルミネーションを見て、笑顔で指差しをしたり、光が点いたり消えたりする様子を味わおうと、自分から何度も点灯スイッチを押したりすることができる。 ○本人からスイッチを操作しようとしている際はそれを認め、「光がついたら綺麗だね。」と言葉かけをする。 (T1) ☆飾り付けをしたイルミネーションを見て、笑顔で指差しをしたり、光が点いたり消えたりする様子を味わおうと、自分から何度も点灯スイッチを押したりすることができたか。	を設定する。早く完了した児童には、まだの児童を手伝うよう言葉かけをする。 ○点灯と同時に BGM を流す。 ○「綺麗だね。」や「○○くんのこの飾りがいいね。」等、言葉かけをする。	かい
7 本時の電気屋としての活動を振り返る。 (5分)	○大型テレビで写真や映像を提示しながら、「今日は何を頑張った？」、「次は何を	○大型テレビで写真や映像を提示しながら、「今日は何を頑張った？」、「次は何を	○大型テレビで写真や映像を提示しながら、「今日は何を頑張ったね。」と本時の活動	○大型テレビで写真や映像を提示しながら、「今日は何を頑張ったね。」と本時の活動	○大型テレビで写真や映像を提示しながら、「今日は何を頑張ったね。」と本時の活動	○大型テレビで本時の活動の様子の映像や写真を提示したりする。また、活動7で児童A	

8 終わりの挨拶をする。 (1分)	飾り付けたい？」と質問する。活動6・7でのAの行動や発言を引用しながら質問する。 (T1)	飾り付けたい？」と質問する。活動6・7でのBの行動や発言を引用しながら質問する。 (T1)	を振り返る言葉かけをする。次時に作成する飾りの候補写真を3枚提示し、「次は何を飾り付けたい？」と質問し、選択するよう促す。 (T1)	を振り返る言葉かけをする。次時に作成する飾りの候補写真を3枚提示し、「次は何を飾り付けたい？」と質問し、選択するよう促す。 (T1)	を振り返る言葉かけをする。次時に作成する飾りの候補写真を3枚提示し、「次は何を飾り付けたい？」と質問し、選択するよう促す。 (T1)	Bが撮影した写真を提示する。	
----------------------	--	--	---	---	---	----------------	--